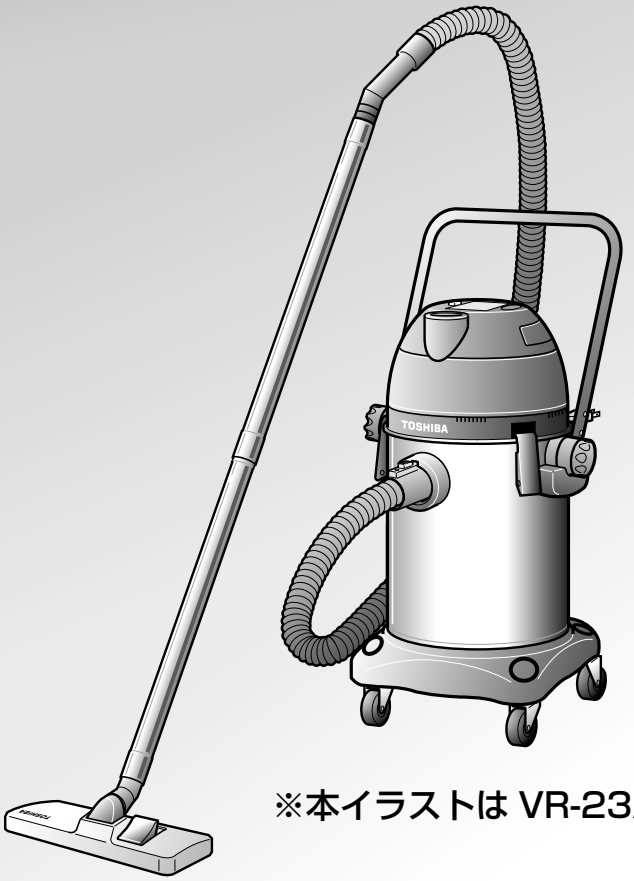
TOSHIBA
Leading Innovation

東芝電気集塵機（屋内用）
取扱説明書

形名
VR-17A
VR-23A



※本イラストは VR-23A です。

二重絶縁

もくじ

安全上のご注意･･･2～3
お願い･･･3
特長･･･4～5
各部のなまえとはたらき･･･4～5
ご使用の前の準備･･･6～9
使いかた（操作をする）･･･10～11
お手入れ･･･12～13
このようなときは･･･14
仕様･･･14～15
保証とアフターサービス･･･15～16
保証書･･･16

保証書付 保証書はこの取扱説明書の 16 ページについておりますので、お買いあげ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝電気集塵機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意 必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

⚠注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

絶対に改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止

電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む　また、電源プラグのほこりなどは定期的にとる

感電・発熱による火災の原因になります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外で使わない

たこ足配線などで定格を超えると、異常発熱して発火の原因になります。

禁止

ノズルやストレートパイプを水中に入れて水を吸わせない

一度に大量の水を吸い込み、モーター部が冠水し、感電事故の原因になります。

プラグを抜く

お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く　また、ぬれた手で抜き差ししない

感電・けがの原因になります。

販売店へ連絡

運転中に異常音・振動・異臭などが発生した場合は、直ちに使用を中止し電源プラグを抜いて、お買いあげの販売店へ連絡する

けが・火災の原因になります。

禁止

次のものを吸わせない

- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛などの爆発性粉塵
- ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油・ガス・塗料などの引火性の危険物
- 薬品などの化学物質
- たき火の残り火・タバコの吸い殻などの高温度のもの
- 切断機・グラインダー・溶接機などから発生する火花を含む粉塵
- セメント粉・複写機用トナー粉などの微粉末
- カミソリの刃・針・ガラスの破片などの鋭利なもの
- 農薬や殺虫剤などの有害物質
- 洗剤などの発泡性のあるもの

火災・爆発・故障の原因になります。

禁止

タンク内に水が入っているときは、乱暴に運んだり、転倒させない

モーター内部に水が入り、感電事故の原因になります。

禁止

乳幼児のいる場所では、使わない　また、子供には使わせない

おもちゃにして、感電やけがの原因になります。

水洗い禁止

モーター部は、水をかけて洗わない

感電・故障の原因になります。

⚠注意

禁 止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない

爆発・火災の原因になります。

火気禁止

ストーブなどの火気に近づけない

排気で炎が大きくなり、
火災の原因になります。

禁 止

屋外、水まわり、風呂場で使用しない

モーター部に水がかかり、感電・けが・故障の原因になります。

禁 止

吸込口や排気口をふさいで運転しない

過熱による本体の変形・
発火の原因になります。

確実に取り付ける

組立用の部品は確実に取り付ける

組み立てが不十分な場合、
事故の原因になります。

ゴミや水を捨てる

インジケーターが、少しでも本体に入った状態になるときは、スイッチを切り、タンク内のゴミや水を捨てる

そのままにすると、モーター焼損・発火の原因になります。

指 示

転倒させたときは、一度スイッチを切り、本体を起こし、モーターが停止してから、再びスイッチを入れる

火災の原因になります。

プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

電源コードが断線し、感電・ショートして発火の原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・
漏電火災の原因になります。

プラグを持つ

電源コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う

電源プラグがあたって、けがの原因になります。

禁 止

電源コードを引き出すときは、赤印部を越えて引き出さない

電源コードが傷つき、火災の原因になります。

お願い

この集塵機は屋内用です。
また、清掃目的以外には使用しないでください。

本体に無理な力を加えたり、重いものを載せたり、落としたり、ぶつけたり、投げたり、け飛ばしたりしないでください。

- 破損、亀裂、誤動作の原因になります。

ホースは極端に折り曲げたり、急激に引っ張ったり、踏みつけたりしないでください。

- 故障の原因になります。

生ゴミなど、大きなゴミは吸わないでください

- 中でゴミがつまり、故障の原因になります。

氷を吸い込む場合、周囲温度 0℃以下では使用しないでください。

- 凍結による故障の原因になります。

水を吸い込むときは、マイクロフィルターを使用しないでください。

- マイクロフィルターに水を含んだまま使用すると、故障の原因になります。

電源コードに泥や砂などが付着した場合は、ふきとってから本体に収納してください。

- 巻き取り部の故障の原因になります。

特 長

■粉塵から水分まで吸い込むドライ（乾式）＆ウェット（湿式）タイプ

●屋内の表面が硬い床（コンクリート、タイルなど）の清掃（乾いたところ（ドライ）、濡れたところ（ウェット））に適しています。

■倉庫や物置きの床、壁、車などの清掃に便利

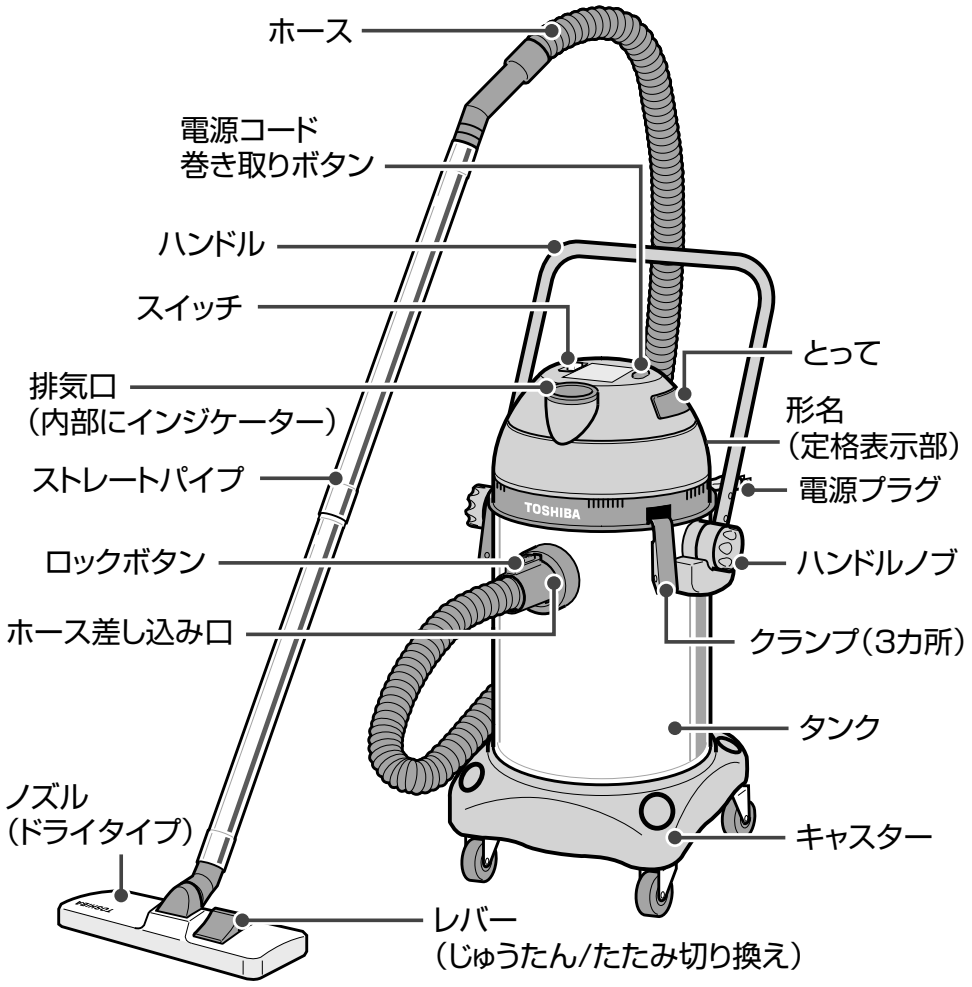
■排気を利用して狭いところのホコリの吹き飛ばしに便利

●ノズルの届かないところに便利なブロワー機能が付いています。

各部のなまえとはたらき

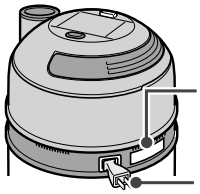
■本　体

※ VR-23Aで説明しています。

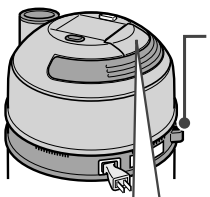


■本体背面

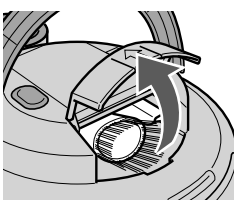
VR-23A背面



VR-17A背面



コーナーノズル・丸ブラシ収納部



VR-17Aは、本体背面にコーナーノズル・丸ブラシの収納部があります。

■マイクロフィルターで排気がキレイ

●マイクロフィルターをセットすれば、特に細かい粉塵を吸い込んでも排気がキレイなので安心です。（ドライ時のみ）

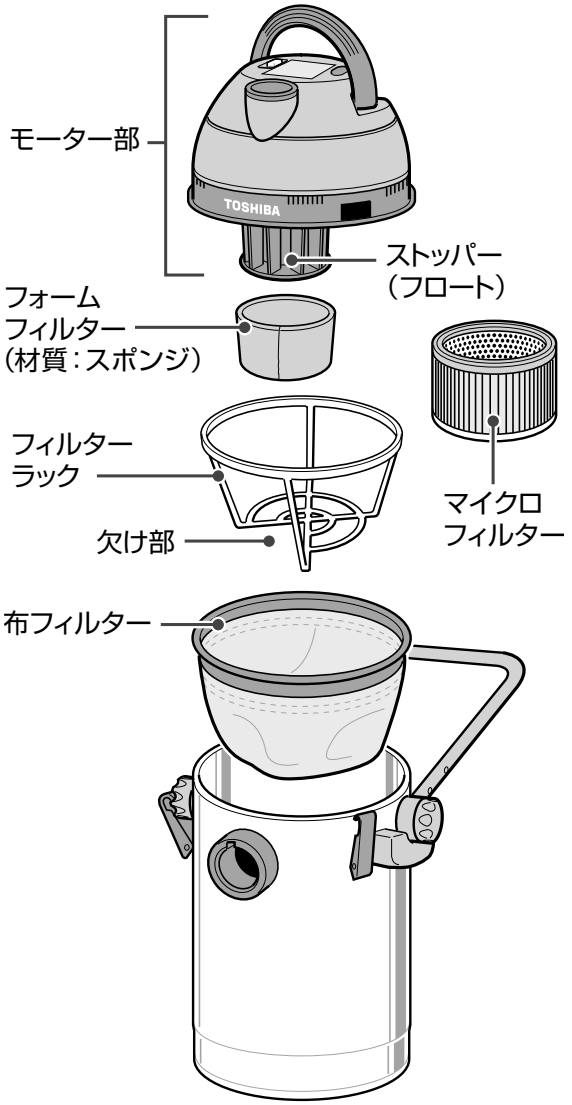
■本体に電源コードが収納できる巻き取りタイプ

■丈夫でお手入れ簡単なステンレスボディ

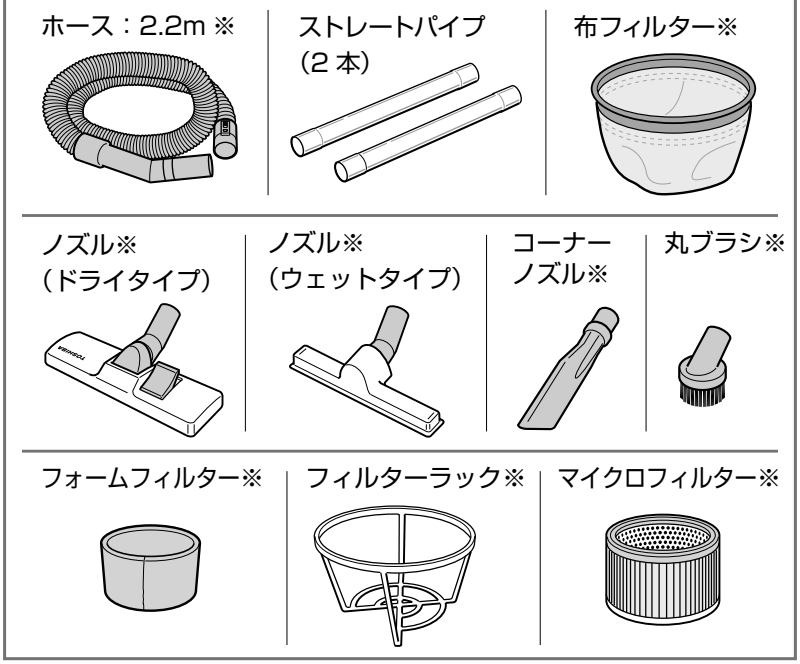
■安全な二重絶縁構造

■移動に便利なビッグキャスター付き

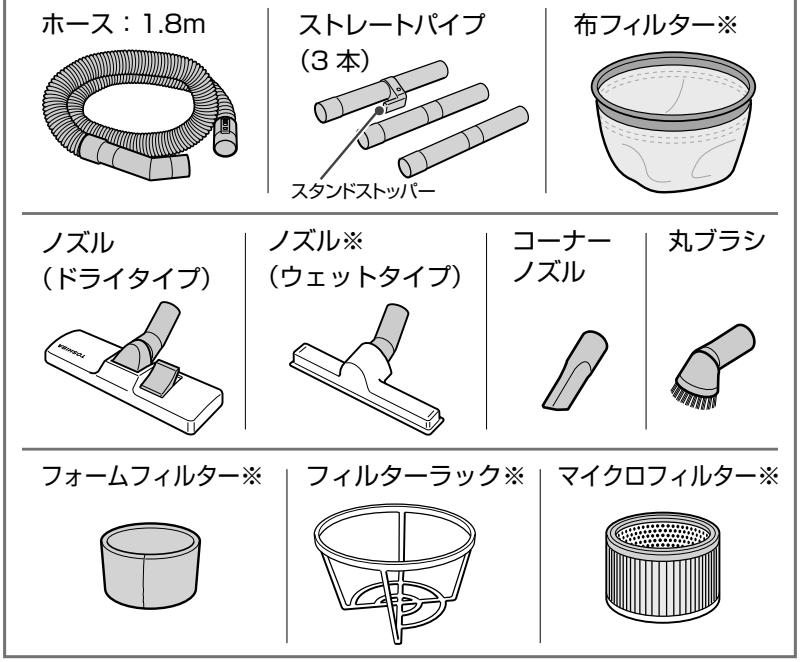
■本体内部



■付属品：VR-23A



■付属品：VR-17A



※：購入時、タンク内に入っていますので、タンクを開けてご確認ください。

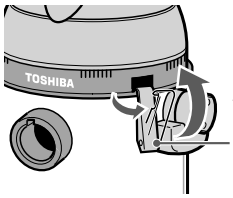
ご使用の前の準備

●この商品は輸送のため、タンク内に一部の部品が入っていますので、組み立ててから使用してください。
●輸送の途中で損傷した箇所がないか、付属品が全部そろっているかご確認ください。万一、不具合な点がありましたらお買いあげの販売店へご連絡ください。

組み立て

1 梱包箱から取り出し、付属品を確認する

●タンクのクランプ（３カ所）をはずし、モーター部を取りはずすと、タンク内に付属品が入っておりますので、ご確認ください。
●出荷時、モーター部にはマイクロフィルターが取り付けてあります。この商品にはフォームフィルターも付属しております。本書８ページの「フィルターの使い分け（選定）」をよくお読みになり、用途に応じてフィルターを使い分けてください。

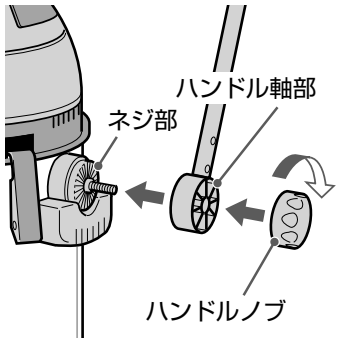


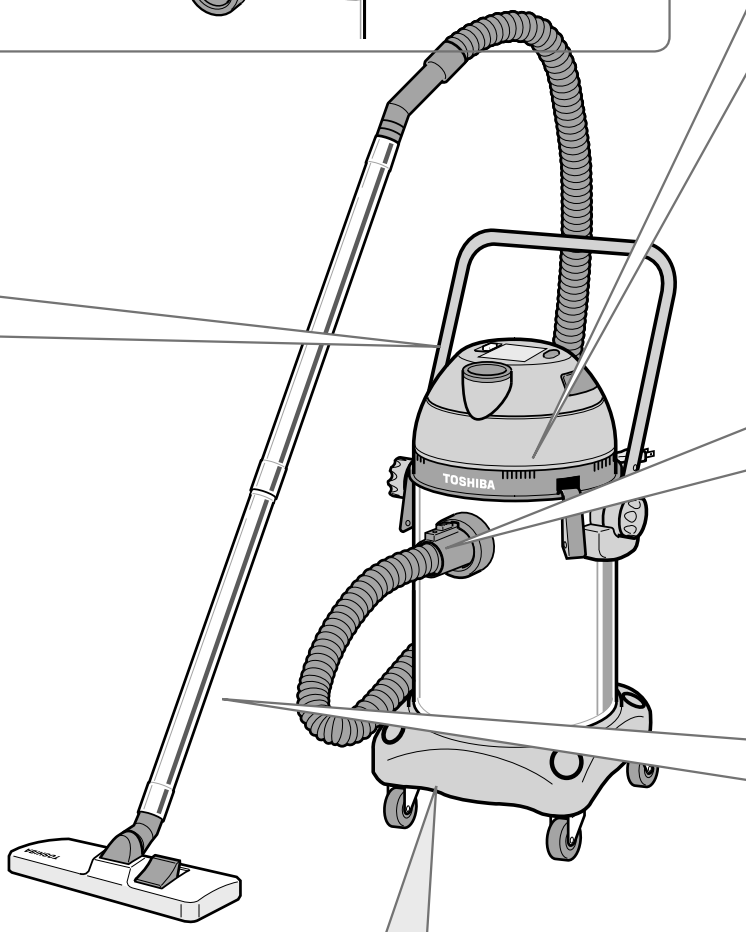
３カ所のクランプを引き上げロックを解除し、モーター部を引き上げます

※ハンドルは VR-23A のみです。
VR-17A にはハンドルは付属しておりません。

2 ハンドルを取り付ける

タンク側面のネジ部にハンドル軸部をはめ込み、ハンドルノブをねじ込んで固定してください。

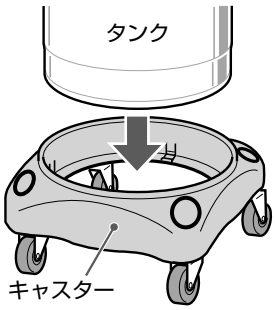




お知らせ
●ハンドル軸部の片方をはめ込み、他方を引っ張るようにしてはめ込むと簡単に取り付けられます。
●ハンドルは角度を変えられますので、使いかたに合わせて調整してください。

3 キャスターを取り付ける

キャスターに対してタンクをまっすぐ差し込んでください。
必ずしっかりと奥まで入っていることを確認してください。



お知らせ
●いったんはめ込みますとはずしにくくなります。はずす場合はキャスター裏面のフック部分にマイナスドライバーなどを差し込んでこじ開けてください。

⚠注意	確実に取り付ける	**組み立て用の部品は確実に取り付ける** 組み立てが不十分な場合、事故の原因になります。

⚠注意	禁止	**組み立てが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない** 誤作動してけがの原因になります。

清掃の準備

フィルターを選ぶ　※詳細は 8 ページをご覧ください

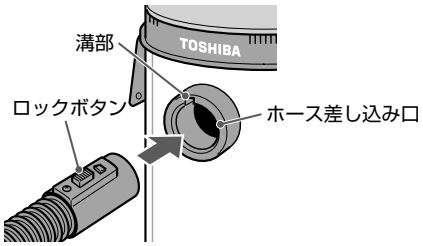
集塵するゴミの種類によって、フィルターを使い分けます。

- ●フォームフィルター＋フィルターラック＋布フィルター：通常のゴミ・ぬれたゴミ・水など
- ●マイクロフィルター（ドライ専用）＋布フィルター　　：特に細かいゴミ

ホースを取り付ける　※詳細は 9 ページをご覧ください

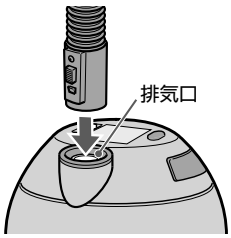
●集塵するとき

ロックボタンをタンクのホース差し込み口の溝部に合わせて「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。
ホースをはずすときは、ロックボタンを押しながら抜いてください。



●排気を利用してブロワーとするとき

排気を利用して、手の届かないすき間のホコリ取り等ができます。
ホースを排気口にしっかりと差し込んでください。
ホースをはずすときは、引き抜いてください。



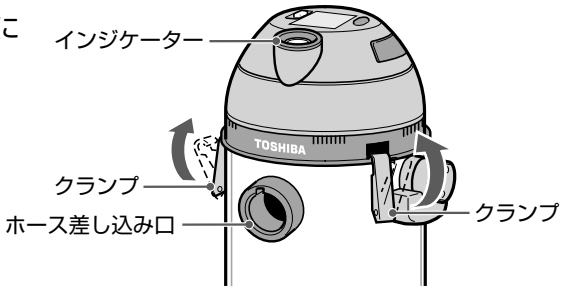
ストレートパイプ・ノズルの接続　※詳細は 9 ページをご覧ください

用途に応じてストレートパイプを接続し、ノズルをご使用ください。

ドライタイプ	ウエットタイプ	コーナーノズル	丸ブラシ
↓	↓	↓	↓
カーペット、乾いた床など（レバーによる切り換え）	ぬれた床	狭いところ	角張ったところ

モーター部をタンクに取り付ける

モーター部のインジケーターとタンクのホース差し込み口を上下にそろえてはめ込み、クランプ（3 カ所）を止めてください。



ご使用の前の準備（つづき）

この商品は、フィルターの使い分け、ノズルの組み替えで、ドライ（乾式）とウェット（湿式）それぞれ適した用途に使用できます。

フィルターの使い分け（選定）

●タンク側面のクランプ（3 カ所）をはずしてから行います。

■フォームフィルター+フィルターラック（ドライ／ウェット両用）

乾いたゴミやぬれたゴミ、こぼれた水などを集塵するときに使います。

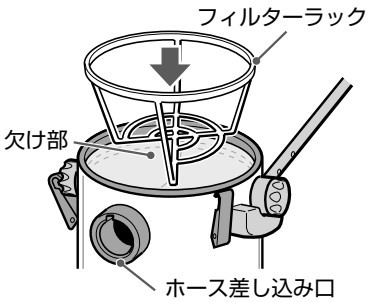
※少しでも床やゴミがぬれている場合はこちらをご使用ください。

フォームフィルターを取り付ける

- フォームフィルターをモーター部に取り付けます。
- フォームフィルターはスポンジ素材のため破れやすいので、取り扱いには注意してください。

フィルターラックを布フィルターの内側に取り付ける

- フィルターラックを取り付けるときは、欠け部がタンクのホース差し込み口と上下同じ方向にそろえてください。



布フィルターを取り付ける

- 布フィルターを取り付けるときは、布フィルターのゴム部がタンクの外周にしっかりとかかるようにし、すき間が開かないようにしてください。

■マイクロフィルター（ドライ専用）

特に細かいゴミを集塵するときに使います。

マイクロフィルターを取り付ける

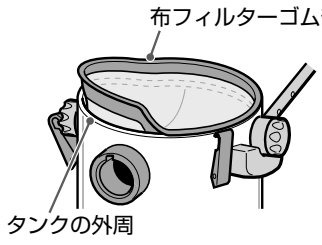
- マイクロフィルターをモーター部に取り付けます。

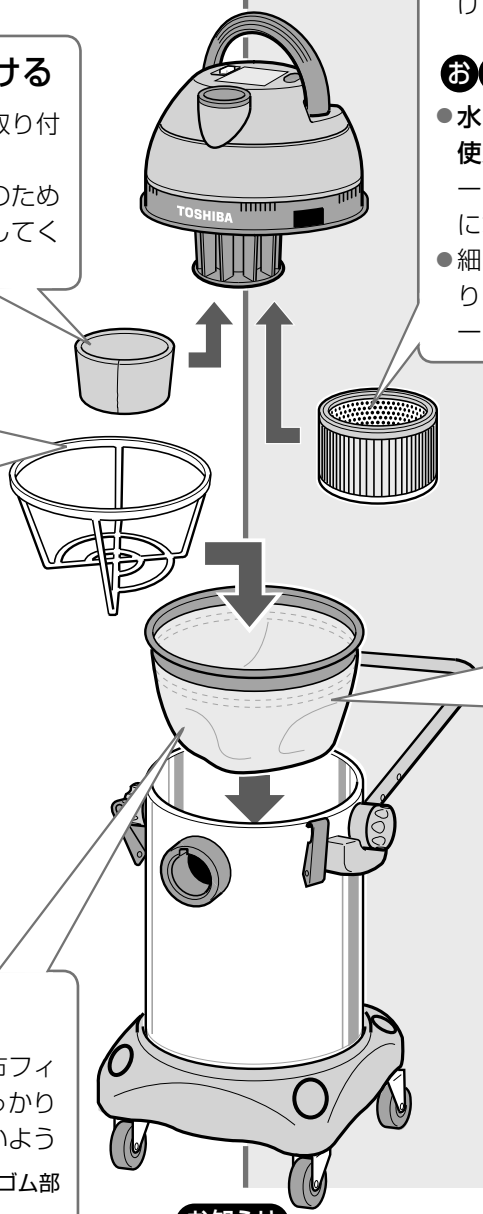
お願い

- **水を吸い込むときはマイクロフィルターを使用しないでください。**マイクロフィルターに水を含んだまま使用すると故障の原因になります。
- 細かいゴミ以外も集塵できますが、目づまりする場合もありますので、なるべくフォームフィルターをご使用ください。

布フィルターを取り付ける

- 布フィルターを取り付けるときは、布フィルターゴム部がタンクの外周にしっかりとかかるようにし、すき間が開かないようにしてください。





お知らせ

- 各フィルターセット後はモーター部のインジケーターとタンクのホース差し込み口を上下同じ方向にそろえてはめ込み、クランプ（3 カ所）を止めてください。
- 各フィルターを取りはずすときは、12 ページの各フィルター・タンクのお手入れを参考にしてください。

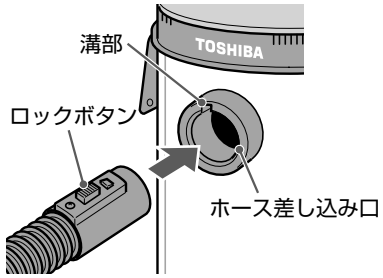
⚠注意	確実に取り付ける	**組み立て用の部品は確実に取り付ける** 組み立てが不十分な場合、事故の原因になります。

集塵、ブロワーの選定

ホースの取り付け位置を変えることで、集塵または排気を利用したブロワーの二通りの使いかたができます。

■集塵をするとき

下図のようにロックボタンをタンクのホース差し込み口の溝部に合わせて「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



ホースをはずすときはロックボタンを押しながら抜いてください。

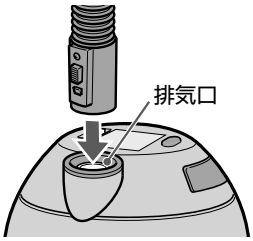
■排気を利用してブロワーとするとき

●排気を利用して、手の届かないすき間などのほこりを吹き飛ばすことができます。

お願い

●吹き飛ばす先に、人がいないことを確認してください。また、汚れてはいけないものがないことを確認してください。

ホースを排気口にしっかりと差し込んでください。

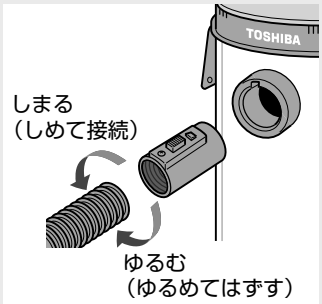


ホースをはずすときは引き抜いてください。

お知らせ

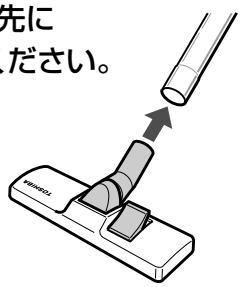
●ホースと接続部分は反時計方向へねじ込んであります。ご使用中にゆるむ方向へホースを回された場合、まれにはずれることがありますが異常ではありません。

●ホースをはずすことにより
・ホースの根元の詰まったゴミを取りのぞくことができます。
・ホースは屈曲によって破れても切り取って修理（接続）することができます。



ノズルの選定

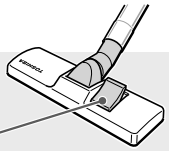
用途に応じて使用されると便利です。
ストレートパイプ・ホースの先にしっかり差し込んでお使いください。



■集塵をするとき

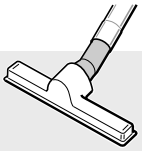
ノズル（ドライタイプ）

・カーペット・乾いた床など
（レバーによる切り換え）



ノズル（ウェットタイプ）

・ぬれた床



コーナーノズル

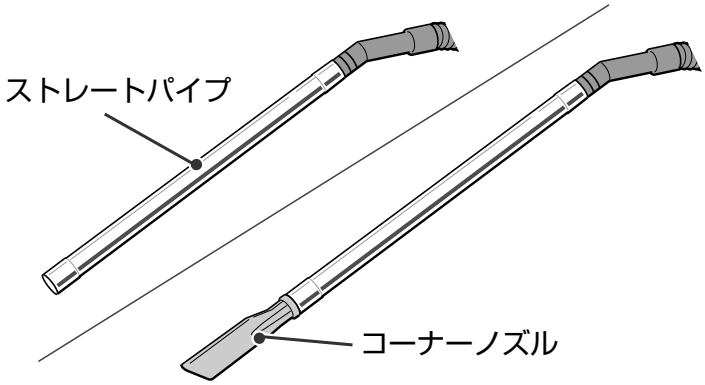
・狭いところ

丸ブラシ

・角張ったところ

■排気を利用してブロワーとするとき

ホースの先にストレートパイプまたはコーナーノズルを接続して使用してください。



使いかた（操作をする）

タンク内のフィルターのセット（選定）および、ノズルのセット（選定）を完了してから行います。

お願い

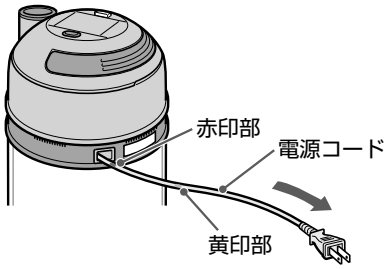
- この集塵機は屋内用です。また、清掃目的以外には使用しないでください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

●スイッチが「切」（中央）になっていることを確かめてから、電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

お願い

- ガタつきのあるコンセントには使用しないでください。火災の原因になります。
- 電源コードを引き出すときは赤印部を越えないでください。故障の原因になります。



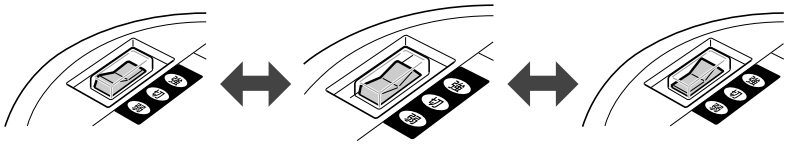
2 スイッチの強弱、入切の操作

能力を「強／弱」２段に切り換えができます。

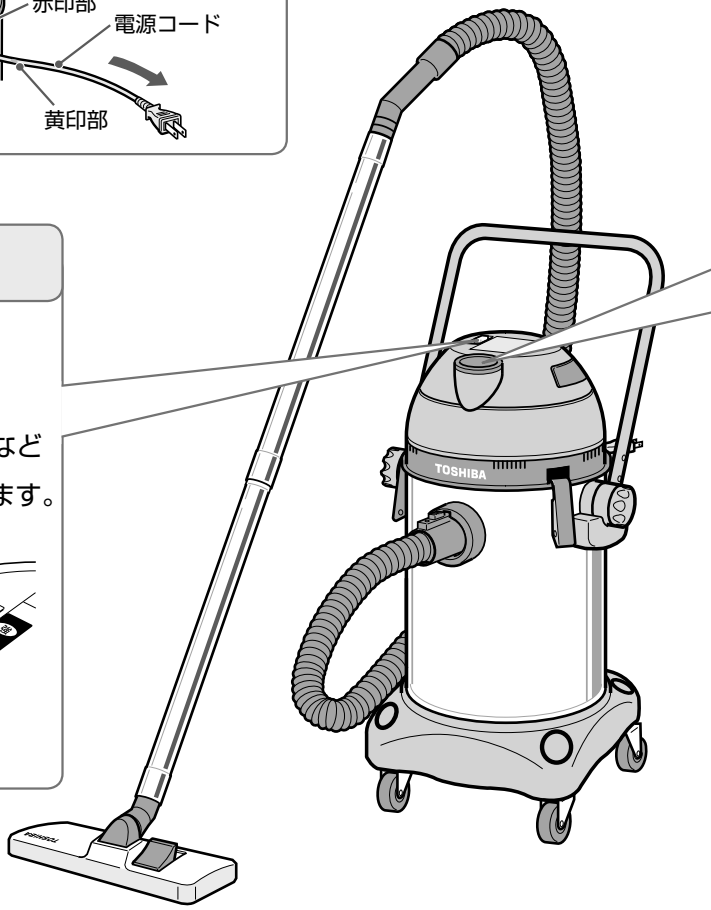
●強か弱に設定します。

・集塵　　弱で設定…カーペット・狭いところなど
　　強または弱…乾いた床・ぬれた床・角張ったところなど

・ブロワー　　使いかたに合わせて強／弱どちらでも使用できます。

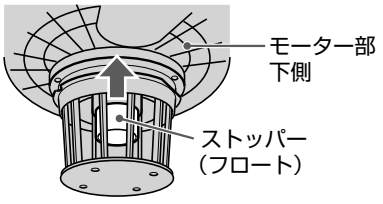


（中央）



自動吸込み停止機構について

タンクに一定量の水を吸い込むと、ストッパー（フロート）が働き（浮き）、吸い込みを停止させます。（インジケーターが排気口に入った状態）。
このようなときはすみやかにスイッチを切り、タンク内の水を捨ててください。



⚠警告	禁止	**タンク内に水が入っているときは、乱暴に運んだり、転倒させない** モーター内部に水が入り、感電事故の原因になります。
⚠警告	禁止	**乳幼児のいる場所では使わない　また、子供には使わせない** おもちゃにして、感電やけがの原因になります。
⚠注意	禁止	**電源コードを引き出すときは、赤印部を越えて引き出さない** 電源コードが傷つき、火災の原因になります。
⚠注意	再びスイッチを入れる	**転倒させたときは、一度スイッチを切り、本体を起こし、モーターが停止してから再びスイッチを入れる** 転倒させたまま放置すると、自動吸込み停止機構が働き、モーター焼損・発火の原因になります。
⚠注意	ゴミや水を捨てる	**インジケーターが少しでも本体に入った状態になるときは、スイッチを切りタンク内のゴミや水を捨てる** そのままにすると、モーター焼損の原因になります。

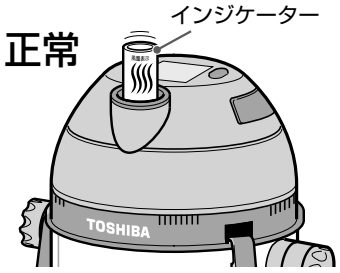
3 インジケーターの確認

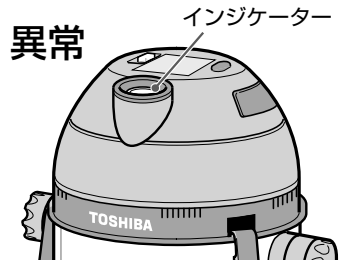
インジケーターは排気の状態を示します。

電源「入」の状態：「強・弱」の設定時

●集塵するとき：
正常に使用できるときは、排気口から飛び出した状態となります。

●排気を利用してブロワーとするとき：
ホースをインジケーター部分に差し込みますので、インジケーターで排気の状態を確認できなくなります。ホースを差し込む前に一度スイッチを入れ、インジケーターの状態を確かめてください。

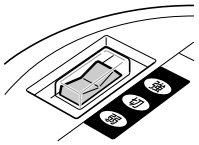




お知らせ

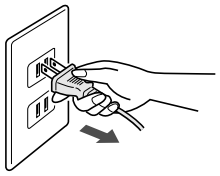
- タンクがゴミでいっぱいになったとき、各フィルターの目づまり、ストレートパイプ・ノズル・ホースのつまりや、吸水時に自動吸込み停止機構が働いたときは、排気口に入った状態になります。
- インジケーターが少しでも本体に入った状態になるときは、タンクや各フィルターなどのゴミづまりがないか点検してください。

ご使用後は



1 スイッチを「切」にする

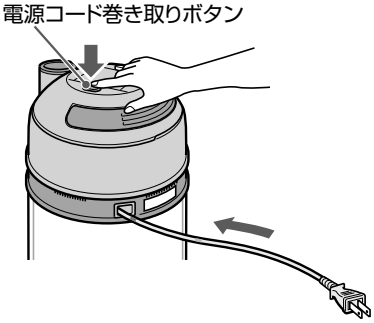
2 電源プラグをコンセントから抜く



3 電源コードを巻き取る

本体上部の巻き取りボタンを押すと電源コードが本体に収納されます。

※電源コードが最後まで収納されない場合は、電源コードが片寄って巻き込まれているので、1 ～ 2 m引き出して再び巻き取り操作を繰り返してください。



お願い

- 電源コードに泥や砂などが付着した場合は、ふき取ってから本体に収納してください。巻き取り部の故障の原因になります。

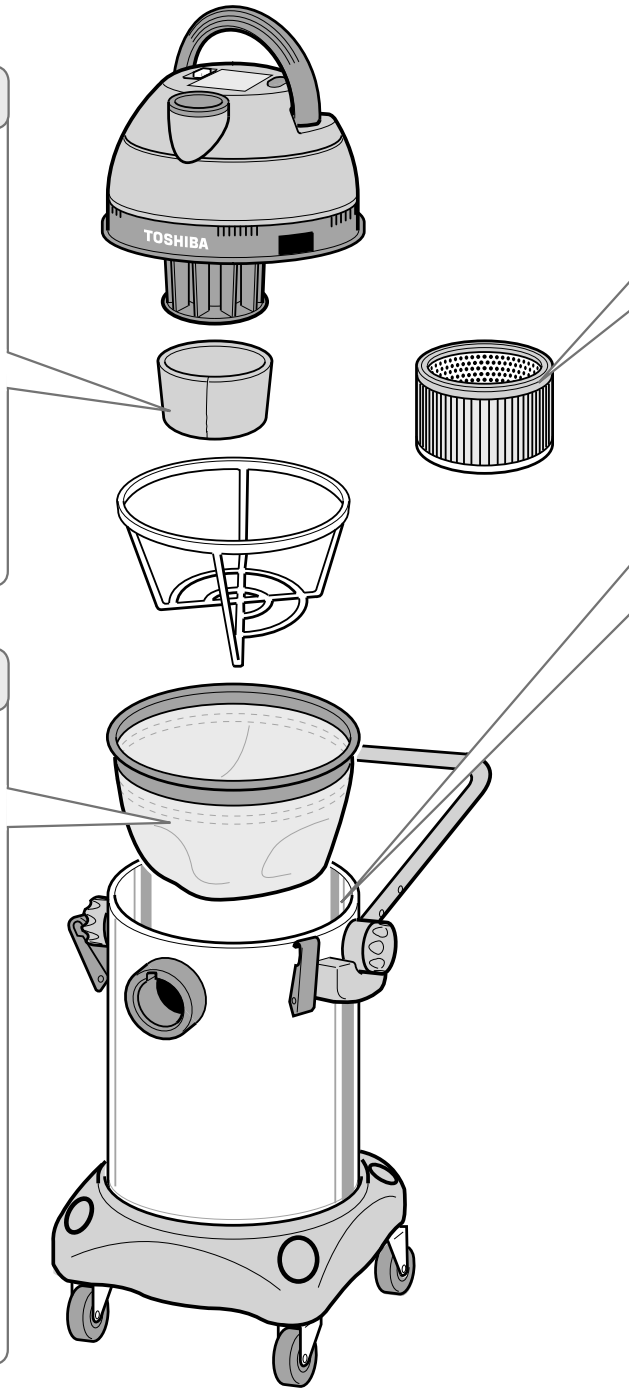
お手入れ

●ご使用後はすぐにお手入れをしてください。
●特にタンク内に汚水・汚物を入れたままにしないでください。悪臭の発生、サビの原因になります。
●フィルターの目づまりは集塵力を著しく低下させます。フィルターに付着したほこりなどはこまめに取りのぞいてください。

各フィルター・タンク内のお手入れ

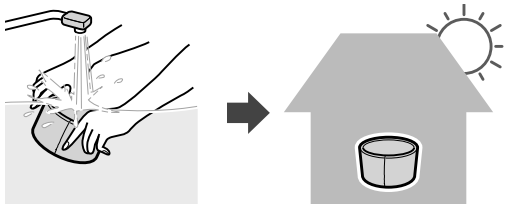
お手入れの手順

①スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
②ホース差込口からロックボタンを押しながらホースをはずしてください。
③タンク側面のクランプ（3 カ所）をはずし、タンク部をモーター部からはずします。
④各フィルター・タンク内のお手入れを行います。



フォームフィルターのお手入れ

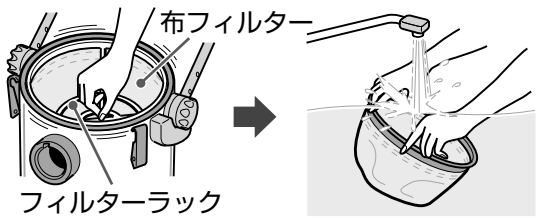
●フォームフィルターにホコリなどが付着したら、静かにはずし手洗いをして、陰干しで完全に乾燥させてから再び使用してください。



お願い
●フォームフィルターは破れやすいので、取り扱いには注意してください。

布フィルターのお手入れ

●布フィルターをタンクからはずさずに、フィルターラック越しに布フィルターを持って、横に数回すばやく振ってゴミを落としてください。
●布フィルターは繰り返し使用できます。
フィルターラックから布フィルターを取りはずし、ときどき水でもみ洗いをして陰干しで完全に乾燥させてから、再び使用してください。



お願い
●絶対に洗濯機で洗わないでください。

⚠警告　プラグを抜く

お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く　また、ぬれた手で抜き差ししない

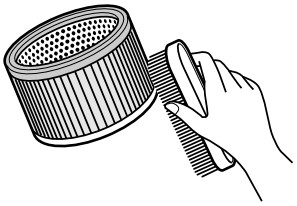
感電・けがの原因になります。

⚠警告　水ぬれ禁止

モーター部は、水をかけて洗わない

感電・故障の原因になります。

マイクロフィルターのお手入れ



●マイクロフィルターの表面についたゴミをやわらかいブラシなどではらい落としてください。

お願い
●水洗いをしないでください。
（水洗いをすると、使用できなくなります。）

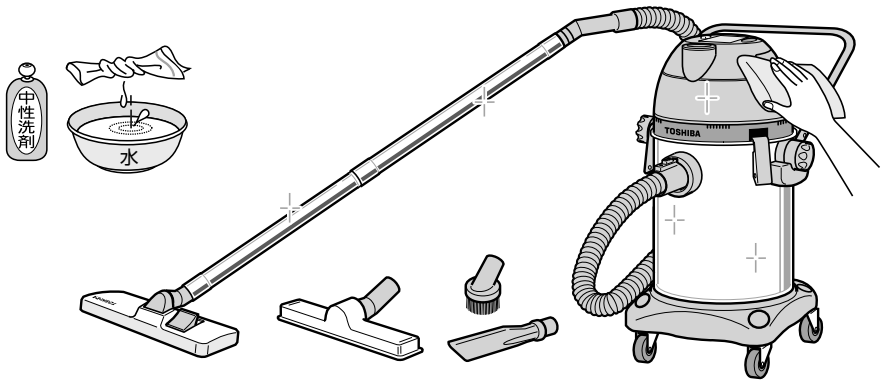
タンク内のお手入れ

●布フィルターをはずしてください。
●タンク内のゴミ、水などを捨ててください。
●組み立ては逆の手順で行います。

本体外側・付属品のお手入れ

本体や付属品が汚れたときは、水または食器洗い用中性洗剤をふくませた布でふく

●ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤などでふくと、ひび割れ・変形・変色・色落ちの原因になります。
中性洗剤を使用したときは、水を含ませた布で洗剤分を落としてください。



このようなときは

⚠警告

絶対に改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前につぎのことを点検してください。

このようなときは ▶	調べるところ ▶	直しかた	参照ページ
スイッチを入れても運転しない（モーターが回らない）	●電源プラグが抜けていませんか。	→電源プラグをコンセントに差し込んでください。	10
	●自動吸込み停止機構が作動していませんか。	→スイッチを切り、本体を起こして、モーターが停止してから、再度スイッチを入れてください。	10~11
モーターは回るが吸い込まない	●インジケーターが本体に入った状態になっていませんか。	→タンクが満水になっているときは、ゴミなどを捨ててください	10~11
		→各フィルターが目づまりを起こしているときは、清掃してください。（各フィルターを清掃しても集塵力が悪いときは交換してください。）	12~13
		→ストレートパイプ・ノズル・ホースにつまりがないか点検してください。	
		→転倒させたときは、一旦スイッチを切り、モーターが停止してから再度スイッチを入れてください。（タンク内に水がないとき。）	11
	●ホースが切れていませんか。	→ホースを交換してください。もしくは切り取って（修理）接続してください。	9

仕様

この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in japan and cannot be used in foreign country where power supply voltage differs and power supply frequency differs. No service is available outside of japan.

形　名	VR-17A
電　源	交流 100V
周　波　数	50-60Hz 共用
定格消費電力（強／弱）	900 ／ 650W
最　大　風　量	1.65 ㎥/min
最　大　真　空　度	16.5kPa
吸　込　み　仕　事　率	120W
タ　ン　ク　容　量	約 17L
吸　水　容　量	約 7L
フ　ィ　ル　タ　ー	布フィルター（乾湿両用）・フォームフィルター（乾湿両用）・マイクロフィルター（乾式用）
質　量	9kg
コ　ー　ド　線　長　さ	5m
コ　ー　ド　巻　取　り　機　構	有
付　属　品	ホース（1.8 m）…… 1 個 ストレートパイプ…… 3 個 ノズル（ドライタイプ）…… 1 個 ノズル（ウェットタイプ）…… 1 個 コーナーノズル（本体内に収納） 1 個 丸ブラシ（本体内に収納）…… 1 個 フォームフィルター…… 1 個 布フィルター…… 1 個 マイクロフィルター…… 1 個 フィルターラック…… 1 個 キャスター（組立用部品）…… 1 個 取扱説明書…… 1 個

仕様（つづき）

形　名	VR-23A
電　源	交流 100V
周波数	50-60Hz 共用
定格消費電力（強／弱）	1100 ／ 740W
最大風量	3.1 ㎥/min
最大真空度	20kPa
吸込み仕事率	160W
タンク容量	約 23L
吸水容量	約 18L
フィルター	布フィルター（乾湿両用）・フォームフィルター（乾湿両用）・マイクロフィルター（乾式用）
質量	9.5kg
コード線長さ	5m
コード巻取り機構	有
付属品	ホース（2.2 m）…… 1 個 ストレートパイプ…… 2 個 ノズル（ドライタイプ）…… 1 個 ノズル（ウェットタイプ）…… 1 個 コーナーノズル…… 1 個 丸ブラシ…… 1 個 取扱説明書…… 1 個 フォームフィルター…… 1 個 布フィルター…… 1 個 マイクロフィルター…… 1 個 フィルターラック…… 1 個 キャスター（組立用部品）…… 1 個 ハンドル（組立用部品）…… 1 個 ハンドルノブ（組立用部品）…… 2 個

保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買いあげの日から6ヶ月間です。**

補修用性能部品の保有期間

- 電気集塵機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります
- 部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

14 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買いあげ日	年　月　日
	お買いあげ店名	電話（　　）　－

愛情点検

長年ご使用の電気集塵機の点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと運転が止まるときがある。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買いあげの販売店に点検・修理をご相談ください。